

以下現今ニ於ケル關東都督府及南滿洲鐵道株式會社、防疫ニ關スル現況、概略ヲ述ブレバ、如

(1) 防疫本部、支部及支部出張所

一月二十二日關東都督府臨時防疫部設置ニ關スル府令ヲ發シ臨時防疫本部ヲ置テ、ハストル病豫防ノ事務ヲ掌理セシム之レヨリ先キ大連ニ於ケル防疫事務所ハ該府令ニ基キ一月二十五日之ヲ奉天ニ移レテ防疫本部ト改稱シ事務所ヲ警務署内ニ置キ關東都督府警視總長ヲ委員長トシテ委員ハ

四

都督府官吏及南滿洲鐵道株式會社重役及在留領事兼都督府事務官ヨリ關東都督府之ヲ命ス陸軍部ヨリハ正式ノ委員ヲ命セシメ會議ニノ之參列スルヲトシ、都督府及滿鐵吏員ヲシテ庶務ニ與ラシムルヲ、シテ南滿洲ニ於ケル防疫事務ヲ統一セリ尚各地方ノ防疫事務及醫務ノ統一ヲ圖ルカ為メ監督規定ヲ設ケ監視員ヲ置キ以テ一時モ其事務ヲ忽ニセザラシム

支部ハ之ヲ旅順、大連、營口、遼陽、奉天、鉄嶺、長春、及安東ニ置キ民政署長若ク

八事務官(州外)ヲ支部長トシ專ラ事ニ當ラ
シム
又民政署及警務署管内主要地ニ支部
出張所ヲ置ク

支部ノ委員ニ都督府官吏滿鉄社員及鉄
道附屬地並ニ領事官管内ノ居住者ノ有力者ヲ
以テ之ニ充テ

10) 汽車検査所

南滿洲鐵道ノ汽車乗客全員ニ對シ検査ヲ
施行スル爲メニ各驛ニ検査所ヲ置ク
(一) 一月八日ヲ開始ノ分

長春、公主嶺、鐵嶺、奉天、遼陽、

大石橋、瓦房店、大連、旅順

(二) 一月十一日ヲ開始ノ分

二盂家屯、四平街、昌圖、開原(以上本線)

千金寨(撫順線)、本溪湖、草河口、沙河

鎮(以上中奉線)

(三) 一月十七日ヲ開始ノ分

鷄冠山、(中奉線)

(四) 一月二十一日ヲ開始ノ分

金州、普蘭店
附記 一月二十五日ヲ長春地境界ニ至テ

所、検査場ヲ設置シ検査ヲ開始ス

(ハ) 列車乗込検査

関東都督府ハ一月十八日列車乗込検査ヲ
續ク定メ南滿洲鐵道列車乗込醫師ハ長
春、昌圖、奉天、遼陽、公主嶺、鉄嶺、
大石橋、普蘭店及大連ノ各停車場柵車
毎ニ及ビ必要ト認めル場合ニ直ニ三等乗客及
清國下等労働者ト認めラル、二等旅客ニ
對シ検査ヲ行ヒ發熱アルモノ及「ト」疑
アルモノハ車内ノ一部ニ隔離シ一時間毎ニ診断
ヲナシ其ノ車輛ハ直ニ交通ヲ遮断シ患者及

六

隔離ヲ要ス(キ)人負ヲ大房身、大石橋、奉
天及長春ノ隔離所所在地ニ通報ス然ル
トキハ細菌検査醫官ハ停車場ニ出張検査
ヲナスモトス尚乗込醫師ハ汽車検査ヲ施
行スル停車場ニ於テ検査委員ト共ニ防疫
上必要ナル打合ヲナスモトス

(ニ) 隔離所

之レヨリ先キ一月十六日関東都督ハ府令ヲ以
テ「ト」病毒汚染ノ地ヲ發シ又「通過」シタ
ルモノ及是等ノ者ト接觸シタリト認めル者ハ七日
以上一定、場所ニ停留、令スルモノキ旨

ヲ布告シテ各所ニ隔離所ヲ設ケテ一定ノ
期間隔離ヲナス

又南滿洲鐵道株式会社一定ノ區間ニ於ケル汽
車乗客ノ輸送ヲ禁止シ、アリト雖モ人王然之
ヲ禁止シタルモノニアレルヲ以テ、南下ニ乗客ニ
對シテ各所ニ於テ一定ノ日時隔離シ以テ病毒
ノ傳播ヲ防キ兼テ患者ヲ收容ス
隔離所ニ之ヲ長春、大房身及大石橋(制規ノ
隔離期日ハ十日ナリ)ニ之ヲ設置セリ又一
月十七日ヨリハ安奉線下鷄冠山ニ係隔離
所ヲ開始セリ、

七

尚大連及奉天ニ大規模ノ隔離所アリ、又安
東縣ニテモ患者收容所及關係者隔離所ノ
設備アリ、其他若シ列車中ニテ患者發生シタ
ルトキ、會社ノ費用ヲ以テ民家ヲ借上ケ、係隔
離室ニ充ツ、該家屋ハ後日之ヲ燒棄スルモ
ノトス

而シテ制規ノ期間ヲ滿了シタル隔離者ハ各會
ヲ通シテ乘車ヲ許スモ隔離所ヨリ直ニ乘
車セシムルヲトス

是等ハ隔離所及收容所ニ收容スル者ノ食
費ハ清國人及朝鮮人ハ一日ニ付十錢以内日本

人及外國人ハ一日ニ付キ三十元以内トス

(ホ) 靉族買上地

「ベスト」防疫ニ關シ靉族ヲ驅除スルハ斯病ノ傳播ヲ防キ又ハ之ヲ撲滅スル上ニ於テ最モ必要ナルヲ以テ關東都督府 南滿洲鐵道株式會社 南滿洲在留本邦人居留民會并ニ清國官憲ハ相俟同シ左記ノ各地ニ於テ靉族ノ買上ヲナシテ之ヲ之レ方為ニ都督府ト一月十四日靉族買上手續ヲ制定シ所屬各官衙ニ訓令シ兼テ捕靉ノ獎勵方ヲ該官吏ニ訓令シ尚之レ力買收費ノ目ヲ關東州地方費收入支出科

目表中ニ設置シタリ

但シ現ニ流行セルハ「聯」ヘストニシテ現今各地ニ於テ古毫モ有茵靉ヲ察見セスト雖モ如斯キハ金ヲ萬一ヲ考慮スルカ為ニ外ナラヌ

- 長春、公主嶺、四平街、昌圖
 - 開原、奉天、遼陽、海城
 - 大石橋、蓋平、熊岳城、瓦房店
 - 大連、旅順、本溪湖、遼東縣
 - 鷄冠山、范家屯、秋木莊、草河口
- 其買上ノ價格ハ必スレモ所ニ依リテ一定セズ一頭ニ付或ハ五錢ナリ、又中ニ懸賞地裁ノ方法

ニ、捕鼠ノ奨励ヲセム所モアリ
如斯ニシテ買上ケタル鼠族ハ總テ南滿洲鐵
道株式會社ノ大連醫院細菌部ニ送付シ
テ鏡檢ヲナスモトス

(ハ) 防疫員及居住本邦人ニ對スル南滿洲鐵
道株式會社ノ注意

是ヲ先南滿洲鐵道株式會社ニテ「ハ」
スト豫防ニ關スル通俗的注意書一萬五千
部ヲ印刷シ大連附屬地及沿線各地ノ各
宿舍居住者其他ニ配給又「ハ」スト豫防
心得ヲ編ヒ彙印シ防疫出費者ニ配付

セリ

尚南滿洲鐵道株式會社「ハ」スト病ニ關
スル學說ヲ採萃シタルモノヲ社員其他ニ配付シ
尚東三省總督其他沿線ノ各知縣ニ若干
部ヲ贈呈セリト聞フ、

(ト) 監視哨

汽車乘客ニ對シテハ檢疫隔離等ノ方法
アリト雖徒歩南下シ來リテ我カ租借地内
ニ病毒ヲ傳播スル支那勞働者ナキニアラサル
ヲ以テ彼等カ我租借地内ニ入り來ルヲ一切禁
止スルカ為ニ普蘭店一月十六日ヨリ將校以下四十

名ヲ呼) 及金州地峽(一月十六日) 將校以下
六十名ヲ以テ) 監視哨所ヲ設ケ兵力ヲ使
用シ此ノ目的ニ備ヘ、又一月二十日ヨリ旅順ニ於
テ(下士以下五十三名ヲ以テ) 防疫ノ目的ヲ
以テ清國人ノ交通ヲ取締レリ

(千) 船舶、船員、船客ノ大健康診断
大健康診断所ヲ大連及旅順ニ設置シ凡ソ南
滿洲及我租借地ヨリ諸國ニ向テ出發スル船
舶及貨物ノ消毒ヲ爲シ船員、船客ハ全部
健康診断ヲ施シ之ニアラサレハ其上船出
航ヲ許サズ

(リ) 汽車乘客輸送禁止驛

南滿洲鐵道株式會社ニ於テハ病毒ノ多クカ清
國人ヲ出ツルヲ以テ清國人朝鮮人三等乘客
ノ輸送ヲ禁止ス安奉線ハ該合内ニ三等清國
人及朝鮮人乘客ハ全ク之ヲ拒絕ス

(又) 乘客輸送制限

一 二等ノ清國人ノ乘客ハ驛長ニテ取捨シ差
出ヘナキ者限リ乘客セルニトナシ本支線
全部ヲ通シ上下列車共凡テ之ヲ實行ス
又安奉線ニテハ清國人ノ一等乘客ハ該合内ノ
内驛長ノ承認ヲ得タル者ニアラサレハ乘客

スルヲ得セシメサルナリ

又南滿洲鐵道ニテ、全線ヲ通シテ糧糶、古綿、古着、牛骨、毛皮等ヲ輸送シテ尙分禁止シ尙北行ノ列車ニモ清國人以外ノ二、三等客ニ對シテ專用車ヲ連結スルコト、セリ

附記

- 一、京奉線ノ營口、奉天、山海關間ハ全然
- 二、三等客ノ乘車ヲ禁止シ一等客ハ内外人ヲ尚ハス五日尚隔離ス
- 一、吉長線ハ二十三日ヨリ十四日尚建業列車以外ノ列車ノ運轉ヲ休止セリ

一、東清鐵道ハ南滿洲鐵道株式會社ノ請
 求ニ應ジテ哈爾濱、寬城子間ノ列車ニハ
 三等、四等客ノ乘車ヲ拒絶セリ

(北) 關東都督府及南滿洲鐵道株式會社ノ醫
 師、招聘、附巡查、流連

關東都督府及南滿洲鐵道株式會社ハ極力
 へスト、撲滅ヲ期シ且ツ又防疫上ノ必要ニ
 基キ共同以テ之レカ醫者ヲ奉ケント欲シ共ニ日本内
 地ノ當局ニ依頼シ南滿洲鐵道株式會社ニテ
 ハ二十四名、關東都督府ニテハ二名ノ醫師ヲ
 大政府及兵庫縣並ニ招請シ之ヲ仍テ其内ニ

名ヲ除ク外全部一月二十一日彼地ニ到着し目下
各地ニ於テ防疫ノ事務ヲ執リワ、ア、
尚南東都督府ニテ巡査汎遣方ヲ一月十八日ヲ
以テ福岡、山口、廣島、長崎及愛媛ノ諸縣
ニ依頼セリ

四清國官憲トノ協力

既ニ記シタルカ如ク現今ノ「ト」ペストハ北滿洲ノ滿州
里ニ發生シ次テ哈爾濱ニ蔓延シ今所ニ於テ感染
シタル支那労働者ノ南下セルニ依リテ病毒ヲ各所ニ
傳播シタルヲ、如シ而シテ彼等ハ軍ニ隸道ニ由リテ
南下シ来レルノシテ「ト」ペストハ隸道ヨリ下車シテ各地

一ニ

ニ到リ或ハ徒歩シテ御軍ニ入り以テ其地方附近一帯
ニ病毒ヲ蔓延セシメタルカ如ク續々各地ニ「ト」ペスト
患者ノ發生ヲ見ルニ至リタルヲ以テ清國官憲ニ於テ
モ亦相違ハ手段ヲ講シ「ト」ア、ト、難南滿洲ニ於ケル
彼我ノ行政區域ハ軍ニ想像上ノ線ニ依リテ劃セ
ラレ何等病毒ノ蔓延ハ防クキ自然ノ障壁ナ
キヲ以テ相互ニ極力相協同スルニ「ト」サレハ充分ニ其效
果ヲ奏スルヲ能ハサルヲナリ、故ニ彼我官憲
ハ相互ニ誠意ヲ披瀝シ人道先ニ滿洲ノ通
商ノ為メ相協力シテ事ニ從フコト、セリ
又清國官憲ハ殊ニ奉天駐在小池海領事ヲ

此等経験に防疫醫師ヲ招聘セントシテ我國ニ申
込ニ来レリ

要スルニ今ヤ清國官憲ト我官憲トハ最も善良
ナル状態ノ下ニ協力以テ之カ剿滅ニ尽カシワ、アリ
五、南東都督府、在外公館ト南滿洲鐵道株

式會社トノ協力

南東都督府在外公館及南滿洲鐵道株式會
社ハ當初ヨリ最も密接ナル關係ヲ以テ防疫事務
ニ協力シ今ヤ總テノ防疫設備ニ於テ殆ント遺憾
ナシト雖モ廣闊ナル區域ヲ保有セル沿線數百里ニ亘
リ處ニ撲滅ヲ期シ難キハ誠ニ遺憾トスル所ナリト雖

一三

熱誠敏速ナル防疫職負ハ速ニ之ヲ剿滅セント
ヲ期シ居レリ。

防疫事務視察日程

日次	到着時刻	到着地	宿所別	備考
二月十二日	午後三時五分急度	新橋	汽車	
十三日	午後八時五分着	馬関	旅舎	
十四日	午後一時	門司出帆	汽船	
十五日			同	
十六日	午後六時頃	大連着	旅舎	
十七日	午後二時五分	同 茂	同	
十八日	午前六時五分	旅順着	同	
十八日	午前六時五分	同 弁	同	
十八日	午前四時五分	奉天着	旅舎	
十九日	午前四時五分	同 着	同	
二十日	午前三時急	同 着	同	
二十一日	同 九時五分	長春着	旅舎	
二十一日	午後七時急	同 着	同	
二十二日	午後一四六分	奉天着	同	
二十二日	午前三時五分	同 着	同	
二十二日	午後九時五分	安東縣着	同	
二十三日	午前七時五分	鴨綠江渡船		
二十三日	同 四十分	新義州着		
二十四日	同 八時五分	同 着	汽車	
二十四日	午前九時三分	釜山着		
二十四日	同 十一時	汽船 着		
二十五日	午後十時三十分	門司着	旅舎	
二十五日	午前九時三分	馬関着	汽車	
二十六日	午後二時三分	新橋着		

以

上

秋本莊 孟家也
身替

奥水子 奉天行
聯給

協議事項

(一) 滿洲防疫事務統一方法

一 滿洲防疫局ヲ奉天ニ支部ヲ大連、ハルビンニ設置シ日露清協同シテ事務從事スルコト

(二) 第一組織成立ニ至迄ハ滿洲主要大地ニ可成多ク日本医師ヲ招聘セシテ相互歩調ヲ一ニシテ防疫措置ヲ実行スルコト

(三) 現下防疫措置ニ関スル事項

一 病毒濃厚ト認めル地ニ對スル部落ノ遮断、隔離消毒ヲ嚴行スルコト
二 浮浪ノ支那人ヲ一定ノ場所ニ收容シ消毒

ノ上五日ヨリ少カラズ期間隔離スルコト

三 樞要ノ停車場所在地ニ隔離所ヲ増設

シ下等客車雖モ消毒ノ上一定期間隔離シテ行ヒタル上乗車ヲ許可スルコト

四 米穀豆粕等ノ貨物ヲ収藏スル倉庫納屋ニシテ鼠族交通ノ虞アリモノニ對シテハ相当ノ防疫設備ヲナサシムルコト

五 有病地郵便局ニ於テハ發送郵便物ノ

外包消毒ヲ行フコト

六 山獺ノ狩獵禁止又ハ其驅除ニ関スル件

七 革皮類羽毛類及古着古綿古紙古氈類古麻囊等ノ輸送取締ニ関スル件

八、管内管外に於て健康診断検査の戶口調査及び死体検査案ノ實行

九、有病地に於て船舶又ハ有病地方に交通シ船舶ノ鼠族驅除

十、買収其他に依り普及ノ鼠族ノ驅除ヲ奨励シ其細菌検査ヲ行フコト

十一、溝渠河川等ノ護岸ニシテ鼠族ノ交通棲息ノ虞アル孔隙ハ之ヲ填充スルコト

十二、樞要ナル地ニ於テハ探鼠隊ヲ組織シ特種ノ營業守水屋ニ就テ鼠族ノ驅除ヲ施行スルコト

十三、患者又ハ患者アリタル地域ノ被隔離者ニ對

シテハペスト血清ノ注射ヲ行フコト

十四、ペスト豫防注射ノ普及ヲ奨励スルコト

十五、防鼠設備ノ普及ヲ奨励スルコト

(四) 報告ニ関スル件

一、患者有る鼠族ノ發生ハ即時電報スルコト(可成系統及病型等ヲ附記シ)

二、前掲電報外別紙様式ニ依り其都度電報スルコト

三、各地別ニ鼠族ノ驅除數ヲ管内内外ニ分チ検査ノ成績等別紙様式ニ依り日報スルコト

四、管外ニ属スル令モ可及的前三号ニ準スル下但レ
別紙各様式ノ欄外ニ(管外)ト明記シ記載事
項中不明ナル令ハ其旨ヲ記入スル下
五、前各号ノ外管内、管外ニ於ケル豫防施設ノ状
況ハ時々之ヲ特報スル下

ペスト防疫施設報告書 其三

前報以降則本月二十日ヨリ全二十一日ニ至ル三日間ニ於テペスト防疫ニ関シ本社ヲ施設シ各事項并ニ全件ニ関シ各方面ヨリ得タル重要事項ヲ通報要旨ヲ列挙スルト左ク如シ

一、左ノ通報ヲ受ク(一月二十日)

上海ニ於テハ大連ヨリ来ル船舶ニ對シ昨日ヨリ検査ヲ開始セリ
二、左ノ通報ヲ受ク(一月二十日)

長春ニ於テハ徒歩南下清國人ノ交通遮断ハ道台ヨリ部下吏員ニ命ジ部落間ニ交通ヲ為サシメ十五日間之ヲ行由

若右期間内ニ患者ヲ発見セハ尚引續キ遮断ヲ續行スル由ナリ

三、臨時防疫事務所長ハ大房身隔離所ニ於ケル停留若

ハ隔離期間ヲ左ノ通り決定セリ(一月二十日)

大房身隔離所ニ収容セル者ニシテ北方ヨリ来リ健康者

ハ滿七日間患者ト全車シ若ハ停留中全室シ又ハ病毒

汚染ノ虞レニ者ハ滿十日間何レモ消毒法ノ施行ヲ終リ

タル時ヨリ起算シ停留又ハ隔離スルモノトス

四、ペスト病ニ関スル學說拔萃書十五百部ヲ印刷シ社員

其他ニ配付シ尚東三省總督長春道台管口道台鉄嶺

知縣遼陽知縣ハ若干部ヲ贈呈セリ(一月二十日)

栗下

五、長春駅雜役夫(清國人)一人昨日疑似ペスト罹り昨右
六時死亡宿舍ハ古貨車ヲ代用シテ翌以テ全貨車ハ
本日焼却シタリ(一月二十日)

六、炭棧買収ヲ本溪湖ニ施行ス其價格ハ一頭券錢トス(一月二十日)
七、ハバト病毒各地ニ散蔓シ被害漸ク甚シカラスル傾向
アルヲ以テ本社職員ニ般對シ左記訓諭ヲ發セリ(一月二十日)
訓諭第一ノ點

晨ニ我沿線不幸シレペスト病ノ襲フ所トナリ爾來病毒
各地ニ散漫シ被害漸ク甚シカラスル其傳染ノ迅速ニシテ
病毒ノ劇烈ナル本職ノ憂慮ニ堪ヘザル所ナリ今ニシテ全
カク傾注シ之カ撲滅ヲ企圖スルニ非ザルニ其被害誠ニ測

ルヘカラザラントス是時ニ際シ本社員タル者ハ直接防疫ノ任ニ
當ルト否トヲ問ハス須ク和衷協力相扶ケ相補ヒ疫勢ヲ
防遏スルニ於テ萬遺憾ナキヲ期スヘシ而シテ直接之カ豫防
救治ノ事務ニ當リ病者又ハ病毒汚染ノ虞アル物品ニ接
觸スル者ニ對シテハ本職ハ殊ニ其ノ日夜ノ勤勞艱苦ヲ諒
シ更ニ危險ノ之ニ伴フモノアルヲ念ヒ深ク同情憂慮ニ堪ヘス
諸氏ハ晨ニ本職ノ公示シタル訓諭ニ基キ一面細心自衛
以テ病毒ノ感染ヲ避クヘキト共ニ一面其職ニ殉スルノ志氣
ヲ以テ勇往邁進事ニ膺リ以テ速ニ撲滅ノ效果ヲ擧ケラル
ヘシ本職實ニ厚望ノ至ニ勝ヘス諸氏其レ之ヲ努メヨ

明治四十四年一月二十日

總裁 中村 是公

八、大連旅順間、於汽車運輸中、發生シタル患者、其患者及隔離者トモ大房身隔離所ニ收容スルコト決定セリ(一月二十日)

九、一月十八日付小池奉天總領事ヨリ受ケタル通報ノ要旨左ノ如シ(二月二十日)

ペスト防疫処置方ニ関シ奉天清國官憲ノ注意ヲ喚起シタルニ韓交渉使ヨリハ我忠告ヲ容レ注意ヲ受ケタル事項ハ直ニ當面事者ニ實行ヲ命ジタル旨回答シ又長春ニ於テ三等乘車切符發賣ヲ停メリルニ付徒歩シテ南下シ来ル者少ナカラサルヘキニヨリ之カ嚴重取締リ方ヲ錫總督・照會シタルニ亦今總督ノ答ル、處トシ清國苦力等徒歩南来スルモノアリハ必ス法ヲ設ケテ嚴重取締ルヘキ旨ヲ回答シ併セテ滿鐵会社カ三等乘車券ノ發賣ヲ停止シ公安ヲ保持セリタルヲ感謝シ其ノ意ヲ会社ニ致サレタキ旨ヲ附言セリ

十、左ノ情報ヲ受ク(一月二十日)

東三省總督ハ新ニ防疫總局ヲ總督衙門内ニ設ケ一月十八日張民政使韓交渉使管審判廳總辦ノ三名ヲ監督ニ任命セリ

總督ハ上奏ノ結果防疫費十五萬兩ヲ大連稅関ヨリ支出スル事トセリ總督ハ昨日南京總督ニ電報シテ南清地方ヨリ防疫醫、派遣ヲ依頼セリ

十一、左ノ通報ヲ受ク(一月二十日)

東清鉄道ハ二千四ヨリ滿洲里哈爾濱間哈爾濱ホランチヤ
間、哈爾濱寛城子間各駅、於テ下等清國人ニ對シ切符發賣ハ
ヲ見合スヘキ旨露國外務大臣及東清鐵道長官ヨリ長春露國
領事ニ電報アリタル由、又長春露國寛城子駅ニ一月十七日
以來今日迄ペスト患者四名死亡二名ヲ出し患者ハ何レモ露
國隔離舎ニ收容シタル由、露國醫師一名ハ哈爾濱ヨリ當地
ニ來レリト云フ

十二、大石橋附屬地、於ルペスト關係者隔離所ハ工事費約二
千四百ヲ以テ社有建物ニ防鼠及應急ノ修繕工事ヲ施シ建物
約百坪收容豫定人員百名ノ隔離所ヲ設備シタルが尚全
病蔓延ノ状況ニ鑑シ更ニ工事費千五百円ノ見込ヲ以テ右

建物隣接セル建物百四十三坪ニ前々様ノ修繕工事ヲ
施シ隔離所ノ設備ヲ擴張スルコト、レ目下工事中ナリ
（一月二十日）

十三、ペスト防疫ノ為メ埠頭構内ニ乗合馬車等ノ出入ヲ禁止
スル目的ヲ以テ大連東廣場健康診所ノ隣地ニ赤帽荷捌
所ヲ建築スルコト、レ直ニ工事ニ着手セリ、建坪六十一坪七合
五ク、工事費概算二十五百円ノ見込ナリ（一月二十日）

十四、大連地江町本社社宅附近、清國人部落ニ於テペスト患
者續発ノ傾向アルヲ以テ病毒侵入防止ノ為メニ社宅周圍
ニ亜鉛板圍ヲ施スルコト、レ工事費概算六千二百円ヲ以テ
全工事ヲ急施スルコト、爲セリ（一月廿二日）

十五、公主山領北方村落に於て本月十四日より十八日マツノ間十三名(内七名は旅宿に於て)死亡者あり依て此方面ヨリ公主山領入り込ら者ノ通路ニ定し其要處ニ防疫ヲ行フ事トシ一月二十日より實施セリ(一月廿日)

十六、大石橋附屬地ノ防疫ニ関シ警察署長ト協議シ本月十九日附近村長公議會長等清國人側ノ重立々々者ヲ會合セシメ南下苦力ヲ監視セシメサルト外六件ヲ協議シ實行セシムコトナレリ(一月二十日)

十七、本日長春附屬地内地に疑似患者發見本人住所ヲ取調ハタルハ第三區六四号家屋ナリ以テ該家屋ヲ取調ハタルニ別々屍體發見シ今レノ疑似患者ト診定セシムルヲ以テ右關係

家屋ニ棟々焼却スルコト、爲セリ(一月二十日)

十八、防疫勵行ノ爲メ安東縣本溪湖間各駅附近及構内無用ナル清國人ノ徘徊ヲ堅ク禁シ又本社使用清國人ニ見易キ標記ヲ以テ區別スルコト、爲セリ(一月二十日)

十九、大連各所ニ患者續發ノ傾向アルヲ以テ此際本社職員婦人等各自ノ使用ニ係ル清國人ヲシテ爾余清國人ト絶對ニ交通ヲ断絶セシメ尚各自使用清國人ニ民政署令ノ規定様式ニ見ホ札ヲ付セシム(一月二十日)

二十、バスター防疫ノ爲メ一等車腰架「カバー」ヲ使用シ其消毒手續ヲ定メタリ(一月二十日)

二十一、本溪湖ニ在リテハ各地ヲ精査定基、一般居住者ハ拘提携シテ鏡

意豫防ニ努メ一朝該病侵入シタル場合ハ之レカ撲滅ヲ期スル
為メ一月十七日其代表者ニ於テ防疫機關ノ組織、検査的戸口
調査、陸路行運者ノ取締、醫員ノ設置、患者及関係者
隔離收容ノ方法、防疫上ノ設備發生家屋ノ消毒、防疫費
ノ支出方、捕鼠及鼠族買収、死亡者ノ埋葬等ニ二項ニ涉
リ詳細ナル処理方法ヲ協定セリ(一月三十日)

二十二、大連ニ設置セル臨時防疫事務所ハ本月廿四日限り之ヲ閉
鎖シ臨時防疫本部ヲ奉天警署署内ニ置キ本月二十五日
リ其事務ヲ開始スルコトナレリ(一月三十日)

二十三、大房身隔離所ニ於テ本月收容者九名ヲ解放シ七列車ニ
還送セリ(金洲五名普蘭店四名ナリ)(一月三十日)

二十四、今朝公主嶺附屬地外支那町ニ怪シキ死亡者凡事ヲ探
知シタルニ見バストト認メラルヲ以テ検菌ノ手續ヲ為スト
共ニ直ニ附屬地消毒隊ヲ派出シテ嚴重消毒ヲ施行シ尚附
屬地ト支那町トノ境界ニ橋梁上ニ検査所ヲ設テ本日ヨ
リ望診ヲ實行セリ(一月三十日)

二十五、遼陽小學校ニ於テハ尋常第五年以上ノ児童年々製作品ト
シテ呼吸器七百個、調製ヲ了リ児童及防疫當事者其他
ニ配付シ尚其筋ノ委嘱ニ應シ目下引續キ千個ノ調製中
アリ(一月三十日)

二十六、前報後則本月二十日ヨリ二十三日ニ至ル三日間ニ於テ患者發生
數ヲ地別日別ニ表示スルコト左表ノ如シ

東信

南滿洲鐵道株式會社
其四

ペスト防疫施設報告書

前報以降則本月廿三日ヨリ廿六日ニ至ル四日間ニ於テペスト防疫ニ關シ本社ノ施設シタル事項並ニ全件ニ關シ各方面ヨリ得タル重要事項ノ通報要旨ヲ列擧スルヲ左ノ如シ

一、上リ各旅客混合列車、限リ清國人以外ノ二等三等乗客ニ對シ専用車ヲ連結シタルガ本月二十一日以後下リ列車ヲモ全一ノ取扱ヲ為シ其専用車ニハ各乗降口ノ見易キ箇所ニ其旨貼リ札ヲ附スルコト、為セリ(二月二十三日)

二、長春附屬地境界ニ建設スル檢疫所六ヶ所工事ハ本月二十日畧落成シタルヲ以テ來ル二十四日ヨリ檢疫ヲ實施スルコト、ナレリ(二月二十三日)

附記、本文二十四日開始ノ豫定、其後変更シテ二十五日ヨリ開始セリ

- 三、公主嶺附屬地附近村落ニテハ今回ノペストハ日本人カ毒物ヲ以テ支那人ヲ殺害スルモノナリトノ浮説アルヤニテ畧々、全地方ノ事情調査ノ為メ派遣シタル清國人中ノ一人趙鶴榜ナルモノハ黑林子ヨリ朝陽堡ヲ徑テ公主嶺ヘ歸途朝陽堡ニテ日本人ノ手先トシテ毒物ヲ播ルモノナリトノ嫌疑ヲ受ケ本月二十日全地巡警ノ拘禁スル所トナリ目下之ヲ解放方ニ付交渉中ナリ(二月二十三日)
- 四、安東縣ニ於テハ二十日ヨリ鷄冠山ニ於テハ二十日ヨリ一頭代金參錢ニテ畧族買収ヲ實行セリ(二月二十三日)

五、安奉線防ノ為メ一月十九日以後安奉輕便線内貨物列車、清國人

ノ便乗一切謝絶シ尙本社清國僱令便乗セシムルコト、為セリ(一月廿三日)

六、吉長線卡倫街駅、バラスト發生ノ為メ建築用列車ヲ除キ本月二十三日

ヨリ十四日間各列車ノ運轉ヲ休止スル旨通報ヲ受ケリ(二月二十三日)

七、一月二十日第九列車ヨリ奉天駅下車客ニ對シ今待合所ニ檢診ヲ

行フ但し車掌ハ其旨奉天駅着ノ客ニ豫告スルモノトス(二月二十三日)

八、左記區間ニ於テハ當分ノ間清國人三等乗客ニ對シ乗車券ヲ發

賣セサルコト、為セリ(二月二十三日)

一、奉天本溪湖間安奉線上リ各列車

一、撫順線各駅ヨリ安奉線各駅ニ至ルモノ

一、沿口及大石橋及廟子間各駅ヨリ安奉線各駅ニ至ルモノ

九、大連東廣場ニ建築中ニ檢疫所及汽船乗降客ハ荷物

扱所ニ事落成ニ付海務局ハ一月二十日ヲ以テ左記ノ通り

公示セリ(一月二十三日)

當分ノ内埠頭構内ニハ檢疫ヲ經タルモノ、外立入ルコト

ヲ禁止ス違来モノハ拘留又ハ科料ニ處ス但シ當該官

憲ノ兼認ヲ經タルモノハ此限リミアラズ

十、左ノ通牒ヲ受ケ(二月二十三日)

金州地峽監視哨增加トシテ一月二十三日在ノ人員ヲ

令セリ

令セリ

下士一、上等兵二、一二等卒二一

計二十四名

十一、大連埠頭ヨリ隔離ヲ要スルキ清國人苦カ九十二名ハ本日ノ列車ニテ大房身隔離所ニ送り消毒ノ上全所ニ收容スルコト、為セリ(二月二十三日)

十二、左記情報ヲ受ク(二月二十三日)

昌圖府及び其附近村落ニ於テペスト病益々蔓延シ既ニ三十余名ノ死ト者ヲ出シ甚シキハ一家八名全滅ノ不幸ヲ見ルニ及ビ昌圖府知事ハ全カヲ尽シテ豫防ニ努ムヘト云ヘリ

十三、撫順炭坑附屬地外楊柏堡村落ニ於テ昨二十三日疑似ペスト患者清國人一名發生本日死ニ檢鏡ノ結果真性

スト、確定ス(二月二十三日)

十四、安東縣ペスト防疫上必要ヲ認メ令地居留民團トノ合同避病院及其附近ニ在ル本社支那家屋ニ應急ノ修繕工事ヲ施シ患者收容所及關係者隔離所ヲ設備スルコト、為セリ(二月二十三日)

十五、去ル二十日死体ノ隠蔽セルヲ発見シタル長春附屬地第三區四三号地家屋六棟附屬屋二棟ハ本日午後二時ヨリ警察官、本社消防組警戒ノ上焼却、着手シ全六時之ヲ了セリ(二月二十三日)

十六、左ノ情報ヲ受ク(二月二十四日)

哈爾濱傳家回ハ二月七日以後ペスト病患者數著シ

増加シ一月二十三日迄毎日平均百四十内外ノ患者發生シ殊
々昨今ノ病勢益々猖獗ヲ極メントスルノ傾向アリテ其慘
狀筆紙ニ尽シ難シ然レハハ爾賓市ニハ今期間毎日平均
十五宛患者發生シツ、アリ右ノ外今期間市内外及七其他
ノ場所ニ於テ毎日發見スル死体平均十八内外シテ該病
初發以來一月二十三日ニ至ル累計傳家旬患者二千五百九十
六死七二千三百四十一哈爾濱市以外東清鐵道附屬地内患
者五百三十三死七五百三十一ナリ其他鐵道附屬地以外
ル北滿洲内部中ニハ到處ル處病毒蔓延シ居レドモ統
計的枚料ヲ得ルノ途ナシ

十七、双廟子太石橋間各駅、奉天本溪湖間各驛
及撫順線各駅ヨリ營口駅ニ至ル清國人三等乘
客ニ對シテハ當今ノ間乗車券ヲ發賣セサルコト、
為セリ(一月二十四日)

十八、范家屯附近ニスト續發ノ兆候アルニ依リ今附
屬地ニ嶺族買収ヲ實施スルコト、為セリ一頭代
金五錢以内トス(一月二十四日)

十九、營口ニ於ケル清國側防疫事務應援ノ為メ細菌
専門醫豐田秀造ヲ令地ニ派遣スルコト、為セリ
(一月二十四日)

二月大身身隔離所ノ近状在、如シ(二月二十四日)

本月十五日隔離者收察開始以來收察者依人莫二百二十九名(二月二十日迄)但シ今日開放シタル者三名ヲ含テ

ニ違セリ收察者中ニ往々或ル事情ノ下ニ嘆願シテ解放ヲ要求スル者アレトモベスト病ハ傳染病中最モ恐ルルキ一種ノ病毒ヲ有スルヲ以テ各同ノ生命保安ノ為メ且ツ公衆衛生ノ為メ暫時此隔離所ニ留マルルキ旨其利害得失ヲ説示スルコト、為セリ彼等ノ動作ハ比較的平穩ニシテ中ニ無聊ニ苦シキ歌舞ヲ演スル者アリ而シテ彼等ノ中ニハ清曆年未ニ切迫セルヲ以テ金鉢取リ閑係ヲ有スル者アルヲ

見受ケ毎日一定ノ時間ニ郵便差出(消毒上)ノ便ヲ興一旦ツ中流以上ノ者ニ對シテハ無聊ヲ慰スル為メ毎日午前午後各一回一定ノ時刻ニ物品購入ノ便ヲ興、
一彼等ヲニテ成ルルハク不満ノ念ヲ懷カサラシメント
ヲ努メツ、アリ

收察者ノ健状態ハ健全ニシテ目下熱發患者ナク水田丸隔離者ノ如キモ健全ニシテ匠員ハ患者發生ノ憂ナカルルヲ云一リ匠員ハ毎日午前午後各一回各室ニ就キ一々検脈ノ上健康診斷ヲ為シツ、アリ

二月一秋木庄草所口ニテ鼠族買収ヲ施行スルコト、為

シ買收價額一頭金參錢トシ秋木莊ハ本月二十日ヨリ
 草河ロハ今二十四日ヨリ之ヲ実施セリ(廿二十五日)
 二十ニスト病毒各地散蔓ノ形勢アルヲ以テ其病毒ノ
 塵芥ニ附着シ搬出傳播ノ危険アルヲ認メ向今右
 地附屬地ニ於テハ車輛内及宿舎其他ヨリスル一切ノ塵
 芥ハ適宜ノ方法ニ依リ從テ燒却スルコトハ爲シ大連
 附屬地ニ在リテハ西濱町塵芥投棄場ニ於テ燒却ス
 コト爲セリ(廿二十五日)
 二十三日ノ情報ヲ受ク(廿二十五日)
 哈爾濱市ノ經營ニ係ルペスト病院並ニ隔離所ノ
 設備要領左ノ如シ

- 一、ペスト病院及隔離所ニ收容セラレタルモノハ歐洲人ト東
 洋人トヲ問ハス凡テ同一ノ待遇ヲナス但シ被收容者ノ
 身分ニ依リ特ニ便宜ノ方法ヲ以テ取扱ヲ爲スト可
 二、日本人ノ患者アル場合ニハ其希望ニ依リ成ル可ク他
 人ト混合セラレサル様取計ヲヘシ隔離ノ場合亦同
 三、患者ハ傳染病院ニ患者ニ接觸シタルモノハ隔離所
 ニ收容ス(病院及隔離所ハ家屋ヲ以テ之ニ充ツ)其他
 患者トシテ一家屋ニ居住シタルモノハ更ニ別個ノ家屋
 若クハ鐵道貨車内ニ隔離收容ス
 四、被收容者ハ寢具其他必需品ノ携帶ヲ許サル但シ
 該物品運附ノ場合ハ消毒ヲ行フ

五、病院及隔離所、家屋、下賃車トヲ閉スルニテ核廢設
備アリ

六、隔離所ニハ食物ノ差入ヲ許ス但シ差入ヲ為セントスルモノハ
豫メ市防疫本部ノ許可ヲ受クヘシ

七、隔離者ニ対シテハ市費ヲ以テ一人一日貳拾圓ノ割合ヲ以テ
食料ヲ支給ス但シ清國人ハ日拾圓ノ割合トス

八、日本社用度課倉庫、納入スヘキ物資運搬
用馬車夫等ニ対スル消毒手續ヲ取引者ト
協議シ左ノ通り協定セリ(二月二十五日)

一、用度課倉庫ニ持込ヘキ各種物資ヲ運搬ス
ル清國人馬車夫夫並ニ用度課倉庫構内ニ

於テ作業ノ目的ヲ以テ差遣スルハ清國人諸職工
馬車夫夫等ハ向テ必ず日本橋ヲ通過セシムコト
但シ西濱町等別々及対ノ方面ヲスル向ハ先日本
橋消毒所ニ立寄ラシムコト

二、馬車及諸職工人夫ニハ用倉行ト標記シタル白色
標旗ヲ携帯セシメ日本橋消毒所ニ於テ相當消
毒ヲ受ケ証票ヲ得テ用度課倉庫門前ニ控
供入門スルコト但シ該職工人夫等ハ一併ニ付標
旗一旗馬車ハ先車毎ニ標旗携帯セシムコト

三、物資ノ搬入至職工人夫ノ差遣等ハ当分ノ内
午前八時ヨリ午後五時迄一箇ニ於テスルコト

二十五、新民府在ル日本医師ハストニ罹リタル類ニテ本社

医員ノ派遣方ヲ奉天総領事ヨリ交渉アリタル以テ

在奉天ト本社旗校疫医員ヲシテ血精ヲ携帶シ目的地ニ

急行セリ(一月二十五日)

二十六、瀋陽駐ニ從來還送苦力ニ関係シ居リシ英國医

員ギンソクハ今朝発病シ午後ニ時死セリ(一月二十五日)

二十七、目下工事中ナル長春、奉天西側車庫隔離舎ノ病勢

消長及收容ノ都合ニ依リ長春ノ豫定ノ七棟ヲ

五棟ニ減シ奉天ノ零々ニ設セル一千名收容ノ隔離

舎以外更ニ一千名收容ノ隔離舎ヲ設備スルモト、為

セリ(一月二十五日)

二十八、奉天附屬地ノ北端係軍地接続地ナル貸付社用建

物内ニテ傭苦力頭一名疑似ハ又トニ罹リ隔離所ニ収

容後間モナク死亡ニ關係者ハ隔離所ニ収容セシガ其後

眞性ハスト、確定セリ奉天附屬地ハ茲ニ始メテ病毒

ノ侵ス所トナレリ(一月二十五日)

二十九、本月廿七日ニ撫順炭坑附屬地外楊相堡村漢ニ於テ

發生シタルハスト患者ノ家屋直ニ交通遮断ヲ励行

シ今廿四日ニ至リテ焼却セリ(一月二十五日)

三十、既報大連埠頭出入制限ニ関シ関東都督府ハ左記

ノ通り建康診断手續ヲ定メ本月二十日ヨリ実施

セリ(一月二十五日)

関東都督府海務局健康診断手続

明治三十四年一月二十日以降大連埠頭構内ニ出入スル者ニ対シ東廣場健康診断所ニ於テ左ノ手続ニ依リ健康診断ヲ施行ス

一乗船客ニ必ズ健康診断ヲ受ケ其ノ證書ヲ受有スルニ非サレハ乗船スルコトヲ得ス

二乗員上陸セムトスルキハ船長又ハ代理者ヨリ交付シクル其ノ船員タル証明書ヲ有スル者ニ非サレハ出門スルコトヲ得ス

前項ノ船員歸船セムトスルキハ船員タル証明書ヲ受有スルニ非サレハ構内ニ入ルコトヲ得ス

三入港船客上陸セムトスルキハ本船船長ヨリ交付スル上陸券タル証明書ヲ受有スルニ非サレハ出門スルコトヲ得ス

四清國人、乗船客、乗船後一切上陸スルコトヲ得ス

五一定業務ヲ帯ビ埠頭ニ交通スル者之ヲ証明スル木札及健康診断ヲ受テ特定ノ診断証(木札)

ヲ受有スルニ非サレハ構内ニ出入スルコトヲ得ス但シ健康診断証ニ出門、都度之ヲ診断所ニ返還

シ、入門、都度之ヲ受有スル

六船客送迎人兼用馬車、人力車及電車ハ本月

二十四日ヨリ構内入ルコトヲ得ズ但シ當該官憲心
ニ於テ必要ト認メ許可ヲ與ハタル者ハ其限ニ在ラス
七、當該官憲ニ於テ交通ヲ兼認シタル者ハ其都
度健康診断ヲ受ケタルモ差支ナキ一定ノ表章ヲ
交付スルコトアルヘシ (以上)

三、大連民政署長、本月二十日告示第八号ヲ以テヘスト
豫防ノ為メ消毒上必要ト認ムル物件ニ之ヲ焼却
スルコトアルヘキ旨ヲ發表シタルガ全市内ニ於テ入スト豫
防消毒ノ為メ既ニ焼却シタル家屋ハ本月十二日若
狭町三区十号地一棟、一月二十日若狭町三区五
号地十六戸ナリ (一月二十五日)

三、公署附屬地ニ於テ防疫ノ為メ設置シタル交通取
締方法、要旨左ノ如シ (一月二十五日)

一、各官衙事務所及附屬地内居住者ノ使用スル清
國人ニ記章ヲ附セシメ其以外ノ者ハ附屬地内ニ
在ルヲ許サズ

一、附屬地冬棧ハ當分清客ノ止宿ヲ禁止セシム

一、警察官及臨時編成警備隊經理係夜警員
及臨時雇上日本人ハ絶ヘズ附屬地内ヲ巡視ニ無
記章者ノ搜索ニ従事ス

一、調査員(臨時雇上清國人)ハ一日少ナクトモ四回各
清國人家屋ヲ巡視シ外來宿泊者及病人ヲ搜

索ス

一、北方より附屬地又ハ附屬地ヲ通過シテ支那町ニ往

来スル徒歩者及荷馬車ノ通路ヲ一定シ之カ監視

ノ為メ三箇所ニ監視者ヲ配置シ特定通路

ニ望診所ヲ設ク

一、支那町ヨリ往來者ヲ監視セシカ為メ三箇所ニ望

診所ヲ設ク

一、騎兵聯隊ハ所定ノ位置ニ停止候テ收遣シ

南下ノ清國人ノ附屬地内ニ入ルヲ防止ス

一、独立守備隊ハ北方村落及支那町ヨリ來ル清國

人一切ニ對シ兵營西側ノ道路ヲ遮斷シテ附屬地外西

方ノ道路ニ迂回セシム

三三、^通大報ヲ受ク(二月二十日)

清國皇帝ノ持康ヨリ京奉線擴充以東ニキリ車ニ

外國人清國人ノ區別ナク乗客ヲ絶對禁止シ塘沽北

京間ニ三等客ヲ除キ一ニ等客ノ輸送ヲ取扱フ

三四、^通大報ヲ受ク(二月二十日)

新義州ニ於ケル三日間停泊ノ費用ハ皆自來(一日一

円五十錢)ナリ目下旅館ヲ以テ停泊所ニ充テ居ルヲ設

備ホク不充分ニシテ甚ク窮屈ナリ

停泊日數ハ新義州駐兵之ヲ証明シテ切符ノ通用期

限ニ影響無クセシムス連絡手ハ荷物ハ新義州ニ消

毒ヲ行フ釜山ニテモ亦隔離所トノ風説アルモ未ダ斯カル
事實ナシ

辛五、本月十六日以來旧鶴冠山隔離所ニ收容中キリシ藤
理學博士外七十五名ハ本日期限満了ニ付消毒ノ上
解放セリ(二月二十七日)

辛六、当分間本溪湖安東縣間上リ列車ニハ清國人ニ等
及並等乗客ニ対シ乗車券ヲ及賣セサルコト、為
セリ(二月二十七日)

辛七、安東縣清國側防疫ニ関シテ通報ヲ受ク(二月二十六日)
沙河鎮附近ニ大規模ノ隔離所ヲ新設シ四台子以北ヨリ未
ル清國人ハ凡テ相当期間之ニ收容スルコト高麗側附近

各街路ヲ監視シ安東縣ニ陸行スル者ヲ防止スルコト

辛八、大房身以南ノ各駅大房身及旅順線ヲ含ムヨリ大房身
以北ニ行カントスル清國人ニ等乗客及健康ニ疑フ
ル清國人、ニ等乗客ハ大房身隔離所ニ七日間
收容スルコト、為セリ但シ関東州内ニ至ル者ニテ
出發地所在ノ警察官吏ニ於テ捺行シタル旅行証
明書ヲ有スル者ハ隔離所ニ收容ヲ除外ス(二月ニ
十六日)

辛九、患者發生數地別日別表前報以後即一月辛
四月ヨリ二十七日ニ至ル三日間分別紙ノ如シ

場	計		長	春	孟家屯間	公主嶺	四平街	昌圖	開原	鐵嶺	奉天		大連	荒地	石橋子	石碑嶺	撫順	旅順	金州	合計	
	附屬地内	附屬地外									附屬地内	附屬地外								附屬地内	附屬地外
計	1,234	567	1,801	1,234	567	1,801	1,234	567	1,801	1,234	567	1,801	1,234	567	1,801	1,234	567	1,801	1,234	567	1,801
附屬地内	1,000	400	1,400	1,000	400	1,400	1,000	400	1,400	1,000	400	1,400	1,000	400	1,400	1,000	400	1,400	1,000	400	1,400
附屬地外	234	167	401	234	167	401	234	167	401	234	167	401	234	167	401	234	167	401	234	167	401
累二十日計	1,234	567	1,801	1,234	567	1,801	1,234	567	1,801	1,234	567	1,801	1,234	567	1,801	1,234	567	1,801	1,234	567	1,801
一月廿五日	1,234	567	1,801	1,234	567	1,801	1,234	567	1,801	1,234	567	1,801	1,234	567	1,801	1,234	567	1,801	1,234	567	1,801
一月廿六日	1,234	567	1,801	1,234	567	1,801	1,234	567	1,801	1,234	567	1,801	1,234	567	1,801	1,234	567	1,801	1,234	567	1,801

スト患者日別表

備考

一 本表、當日報告に據りて
 二 長春奉天附屬地外分端回側
 三 於て明言せしり以て多少差
 異を有し得べし

参考

北滿洲状況
 傳家旬報 第八五九六
 哈爾濱 第三九〇
 哈爾濱附屬地 第三三三
 鐵嶺附屬地
 其北滿洲内部に
 其北滿洲内部に
 其北滿洲内部に
 其北滿洲内部に

南滿洲状況
 大屯附近村落 一六
 孟家屯村落 八
 范家屯附近村落 八
 昌圖附屬地村落 三〇
 八面城 三
 興隆泉(長春附屬地) 一〇
 長春買書街間 二五
 孟家屯附近村落 二
 公主嶺北方村落 一六
 北洋軍隊兵士 一〇
 長春團三鎮兵士 九
 長春團三鎮砲兵 五

明治四拾四年貳月 八日 接受

警政務局

受第 3164 號

附屬書類添付

南滿洲ニ於ケル
ニ關シ別紙寫ノ通り電報ニ接シ
三條及御送付也

二月七日

松 殖 高

郵

外務省及務局

片平

南滿洲ニ於ケル「ポスト」報告ニ関スル件

庚二月六日午後六時三十分

着 午前十一時十五分

奉天 義興町

第二部長宛

臨時防疫本部委員長

電文譯

新患管内

四平街一

公主嶺三

長春一

金州一

累計一八三

管外

奉天六

鉄嶺一〇

長春六

本溪湖一〇 (西一女)

累計一四六一

管外累計一六四三

登錄日 八月廿四年四月廿四日

明治四拾四年貳月八日 接受

警務部

受第 3129

第一課

南滿洲ニ於テハ
ニ聞レ別紙寫ノ通り電報ニ接
テ條及御送付也

秘 二月七日

松 殖

防臨抑 殖時局

通有 外務省政務局

森

御中

原 1月

3-2596

0245

臨時防疫本部奉復長

二月六日午後五時五十分
二月七日午前一時四十分
奉天

松殖子カニ部長

(一)防疫機關臨時防疫本部ヲ奉天ニ置キ民政支署及地
務署所在地ニ同支部ヲ置キ猶民政支署及地務署所在地
支所ト改稱シ置キ監督領事官及労働社員中より各支所
ヲ擔任シ在滿各機關合同ニ一箇防疫機關ニ組織セリ但レ
部ニ本部長官會ニ附設スルニ列(委員トシテ)セシム
汽車検査列中ニ醫師及警察官ヲ乗セシメ乘客健康検査
ヲ行ハシメ立寄停車場ニ於テハ醫師及警察官ヲ乗降客ニ對
健康検査ヲ行ハシム
隔離所及病舎ニ客年十一月末ニ南滿州ニ患者發生セリ時
奉天大石橋ニ汽車旅客ヲ收容スル目的ヲ以テ相當ノ設備
ヲ行ハシメ

流行ニ方リテ更ニ大房身ニ充テ修繕シ最大ニ五千五百人ヲ收容
スル隔離所ノ設備セリ猶此他長春ニ三千五百人ヲ收容スル奉
天ニ千人ヲ收容スル(キ者ヲ急造)シ始メト竣工セリ又各
線小驛各場所ニ規模ノ小ナルモ三十八ヶ所アリ
汽車乘客本線上下列車共清國人タルニ二等客ニ差出シト認ムル
為ニ乗車ヒト三等客ノ規定ノ期間隔離ラ延クモ、外來車セ
又自來人、各車輛ヲ區別スルベシ
安奉線ニ於テ滿鉄本社ニ於テ許可セシ一等客、外清國人ノ
乗車ヲ拒絶セリ
東南下ノ、取締リ東三省總督ニ交渉、止ル(長春ニ於テ其他
沿線各地ニ於テ極力之レヲ防セシム)ト、南滿州國界線ニ
分ルルノ選擇ニ警察官ヲ嚴重取締ラ州内住民ノ歸リ
來ラズニ命、防疫所(各線ニ備ヘテ)ニ收容シ

定期間經過^上峠村セモ其也、者之^上川内入^上又吾蘭店セモ
身地境ニ至^上隊監視有^上役^上警備^上証明^上外^上通^上
許^上又^上亦^上帳^上其^上由^上ニ^上於^上テ^上同^上隊^上監視^上有^上役^上警備^上取^上付^上ナ^上セ^上リ
捕^上鼠^上、^上要^上上^上ヲ^上實^上行^上シ^上捕^上鼠^上置^上容^上鼠^上器^上ヲ^上配^上給^上シ^上外^上大^上連^上ニ^上於^上テ^上、^上監^上
賞^上地^上錢^上ヲ^上實^上行^上セ^上リ

患者^上祭^上生^上家^上屋^上ニ^上テ^上充^上分^上消^上毒^上シ^上難^上ト^上者^上、^上賠^上償^上金^上ヲ^上交^上附^上シ^上之^上ト^上
焼^上却^上シ^上高^上層^上外^上、^上分^上ニ^上付^上テ^上我^上在^上留^上民^上ニ^上危^上害^上ヲ^上及^上ホ^上ス^上、^上虞^上アリ^上ト^上認^上ム^上ル^上場^上
合^上清^上國^上官^上憲^上ニ^上交^上涉^上シ^上、^上上^上燒^上却^上セ^上ル^上、^上アリ^上
清^上國^上苦^上力^上、^上取^上締^上州^上内^上ニ^上テ^上各^上備^上置^上テ^上、^上一^上定^上、^上微^上章^上ヲ^上付^上シ^上一^上定^上ノ
場^上所^上ニ^上居^上住^上セ^上ル^上、^上レ^上尚^上日^上々^上健^上康^上診^上断^上ヲ^上施^上行^上セ^上リ
有^上病^上地^上域^上内^上清^上國^上人^上及^上浮^上浪^上乞^上食^上、^上徒^上ニ^上テ^上収^上容^上所^上ニ^上収^上容^上シ^上店^上ニ
リ^上長^上春^上、^上奉^上天^上、^上鉄^上嶺^上、^上公^上主^上嶺^上等^上、^上附^上屬^上地^上ニ^上テ^上、^上浮^上浪^上、^上徒^上ヲ^上驅
逐^上シ^上、^上監^上視^上檢^上疫^上所^上ノ^上役^上分^上出^上入^上者^上ヲ^上檢^上疫^上消^上毒^上セ^上リ

以上大要ニシテ各地方ニ於テ詳ニ述ビテ以テ報告ス
防疫ニ從事セル醫師八百一十名ナリ
清國側ニ於テ設備及醫師ノ數ニ後ヲ報告ス
(四上)

THE YOKOHAMA SPECIE BANK LIMITED.
TOKYO.

外務省

外務省御中

明治四拾四年二月九日 接受
外務省御中
第...課
3284
東京支店

明治四十六年二月八日
外務省御中
第...課
3284
東京支店

3-2596

0248

南端洲之於ルコトヘスト流ルニ関
之於帝國ノ通リ報告ニ接シテ亦
及申報候也

明治四十四年二月九日

松強馬臨時防疫係

明治四十四年貳月拾日 接受

警務局

三

外務省政務局

馬

馬

防疫係時局

附屬書類添付
3454
號

第一課

馬

二月八日午後七時五分 奉天
 着 十時十七分 葵町
 臨時防疫本部委員長
 拓殖局第二部長宛

電文譯
 新患

長春
 累計

管内

一八一
一八六

管外

三二

(内ニ係争地)

三

(内 女 二)

一

三六

(内 三 女)

五

一三三六

奉天 鐵嶺 昌圖 長春 撫順 累計

管内外累計

一八〇七

ペスト患者日報

明治四十四年二月三日

地方別	關東都督府管内患者		清國管轄内患者		摘要
	日本人	支那人	日本人	支那人	
旅順	：	：	：	：	初發一月二十日
大連	：	：	：	：	同 一月四日
奉天	：	：	五六	五六	同附屬地内 一月二十四日
鐵嶺	：	：	四	四	同 一月五日
開原	：	：	一	一	同 一月十日
昌圖	：	：	四	四	同 一月十五日
四平街	：	：	三	三	同 一月十八日
公主嶺	：	：	四	四	同 一月二十五日
長春	：	二	四	五〇〇	同 一月三十一日
雞冠山	：	：	：	：	同 一月十六日
金州	：	：	：	：	同 一月二十三日
撫順	：	：	：	：	初發附屬地内 一月二十六日
本溪湖	：	：	：	：	同 一月二十三日
法庫門	：	：	：	：	同 一月二十日頃
合計	三三	三	六五	六五	

備考 清國官轄内患者ハ南滿鐵道ニ接近シタル主要地ノ患者ヲ計上ス其數ハ清國官憲ノ通報ニ係ルモノナルヲ以テ明確ナラス
奉天清國管内累計ノ内ニ日本人二朝鮮人一、英國人一ヲ含ム、△印ハ朝鮮人ヲ示ス

ベスト患者日報

明治四十四年二月五日

地方別	性		關東都督府管内患者		清國管轄内患者		摘要
	男	女	計	日本人	支那人	外國人	
	計	計	計	計	計	計	
旅順	1	0	1	1	0	0	初發一月二十日
大連	4	0	4	4	0	0	同 一月四日
奉天	7	0	7	7	0	0	同附屬地内 一月二十四日
鐵嶺	1	0	1	1	0	0	同 一月十日
開原	1	0	1	1	0	0	同 一月十日
昌圖	1	0	1	1	0	0	同 一月十日
四平街	3	0	3	3	0	0	同 一月十日
公主嶺	4	0	4	4	0	0	同 一月十日
長春	8	0	8	8	0	0	同 一月十日
雞冠山	1	0	1	1	0	0	同 一月十日
金州	2	0	2	2	0	0	同 一月十日
撫順	3	0	3	3	0	0	初發附屬地内 一月二十日
本溪湖	1	0	1	1	0	0	同 一月二十日
法庫門	2	0	2	2	0	0	同 一月二十日
合計	66	0	66	66	0	0	

備考 清國管轄内患者ハ南滿鐵道ニ接近シタル主要地ノ患者ヲ計上ス其數ハ清國官憲ノ通報ニ係ルモノナルヲ以テ明確ナラス
奉天清國管轄内累計ノ内ニ日本人二朝鮮人一英國人一ヲ含ム、△印ハ朝鮮人ヲ示ス

關東都督府

ペスト患者日報

明治四十四年二月六日

合 計	領事館管内本日								地 屬					附 道 鐵							州 東 關																		
	計	安東領事館		長春領事館		鐵嶺領事館		奉天總領事館		遼陽領事館		牛莊領事館		計	安東警務署		公主嶺支署		長春警務署		管轄別	性	本 日 發 生	累 計	治 癒	現 計	患	計	性	本 日 發 生	累 計	治 癒	現 計	患					
		女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男		女	男	女	男	女	男															女	男	女	男	女
計	計	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	計	女	男	女	男	女	男	女	男	計	女	男	女	男	計	女	男	女	男	計	女	男	女	男		
六	六												五																										
六	六												五																										
一	一												八																										
一	一												八																										
七	七												八																										
七	七												八																										
八	八												八																										

領事館管内ニ於テハ日本人ノミヲ調査ス、△印ハ朝鮮人ヲ示ス、奉天總領事館日本人男ノ内一ハ朝鮮人ナリトス

關東都督府

ペスト患者日報

明治四十四年二月七日



地方別	關東都督府管内患者		清國管轄内患者		摘	要
	日本人	支那人	日本人	支那人		
旅順	1	0	0	0	初發一月二十日	
大連	1	0	0	0	同 一月四日	
奉天	1	0	0	0	同 一月四日	
鐵嶺	1	0	0	0	同 一月四日	
開原	1	0	0	0	同 一月四日	
昌圖	1	0	0	0	同 一月四日	
四平街	1	0	0	0	同 一月四日	
公主嶺	1	0	0	0	同 一月四日	
長春	1	0	0	0	同 一月四日	
雞冠山	1	0	0	0	同 一月四日	
金州	1	0	0	0	同 一月四日	
撫順	1	0	0	0	初發附屬地内 一月二十六日	
本溪湖	1	0	0	0	同 一月二十六日	
法庫門	1	0	0	0	同 一月二十三日	
合計	13	0	0	0		

備考 清國管轄内患者ハ南滿鐵道ニ接近シタル主要地ノ患者ヲ計上ス其數ハ清國官憲ノ通報ニ係ルモノナルヲ以テ明確ナラス
奉天清國管轄内累計ノ内ニ日本人ニ朝鮮人一英國人一ヲ含ム、△印ハ朝鮮人ヲ示ス

ベスト患者日報

明治四十四年二月八日

地方別	關東都督府管内患者		清國管轄内患者		摘	要
	日本人	支那人	日本人	支那人		
旅順	1	1	1	1	初發一月二十日	
大連	6	6	6	6	同 一月四日	
奉天	7	7	7	7	同附屬地内 一月二十四日	
鐵嶺	1	1	1	1	同 外内 ナシ	
開原	1	1	1	1	同 外内 ナシ	
昌圖	1	1	1	1	同 外内 ナシ	
四平街	4	4	4	4	同 外内 一月十二日	
公主嶺	8	8	8	8	同 外内 一月十五日	
長春	9	9	9	9	同 外内 一月二十二日	
雞冠山	1	1	1	1	同 外内 一月二十六日	
金州	3	3	3	3	同 外内 一月十六日	
撫順	3	3	3	3	初發附屬地内 一月二十六日	
本溪湖	1	1	1	1	同 外内 一月二十六日	
法庫門	1	1	1	1	同 一月二十日頃	
合計	186	186	186	186	同 一月二十日頃	

備考 清國管轄内患者ハ南滿鐵道ニ接近シタル主要地ノ患者ヲ計上ス其數ハ清國官憲ノ通報ニ係ルモノナルヲ以テ明確ナラス
奉天清國管轄内累計ノ内ニ日本人一朝鮮人一英國人一ヲ含ム、△印ハ朝鮮人ヲ示ス

關東都督府

ペスト患者日報

明治四十四年二月九日

地方別	性		關東都督府管内患者		清國管轄内患者		摘要
	日本人	支那人	計	日本人	支那人	計	
旅順	二	二	四	二	二	四	二名共大連ヨリ來ル途中村落ニ於テ發生シタルモノ
大連	六	六	一	二	二	三	係争地ノ新患ニ累計五〇
奉天	七	七	一	四	五	三	
鐵嶺	一	一	二	四	六	一	
開原	一	一	二	二	四	一	
昌圖	一	一	二	二	四	一	
四平街	四	四	八	一	九	二	
公主嶺	八	八	一	一	二	四	
長春	九	九	一	一	二	四	
雞冠山	一	一	二	一	三	四	
金州	三	三	六	一	七	四	
撫順	三	三	六	一	七	四	
本溪湖	一	一	二	一	二	四	
法庫門	二	二	四	一	五	四	
遼陽	一	一	二	一	二	四	
合計	一八六	一八六	三七二	一四八	五二〇	一七六	

備考 清國管轄内患者ハ南滿鐵道ニ接近シタル主要地ノ患者ヲ計上ス其數ハ清國官憲ノ通報ニ係ルモノナルヲ以テ明細ナラス
 奉天清國管内累計ノ内ニ日本人ニ朝鮮人ニ英國人ニヲ含ム、△印ハ朝鮮人ヲ示ス

關東都督府

關東都督府管内患者
 日本人 支那人 外國人 計 累計
 清國管轄内患者
 日本人 支那人 外國人 計 累計

石橋縣附近ニ一其ノ他ハ大嶺縣附近ニ發生シタルモノ
 最近數日間ニ發生シタルモノ
 一月七日立山驛附近ノ支那村落ニ於テ北方ヨリ來ル苦力ニ發生シタルモノナリ

直

外務省政務局

御中

南滿洲ニ於ケル「ペスト」流行
ニ關シ別紙寫ノ通リ報告ニ接シ去
條及御回報候也

明治四十四年二月十日

拓殖局
臨時防疫

拓殖局
臨時防疫係

第一課

栗下

W

寫

發二月九日午後五時二十五分奉天
著「」九時十三分奉天
臨時防疫本部香島長

松尾尚二部長宛

電文 譯

管内 新憲 無し

管外 奉天 二三 (内係軍地二)

鎮嶺 五

開原 四

昌圖 二

長春 八九

法庫 二四

遼陽 一

三山 馮陞道村 二

(北方系末「」免 苦力二月七日發)

ルモノ

累計 一七六九

管内外累計 一九五五

明治四拾四年貳月拾日 接受

警務局

3455

第一課

栗原

秘南滿洲ニ於ケルコレラト流行

ニ關シ別紙寫ノ通り報告ニ接シ矣
條及御回報候也

明治四十四年二月九日

直

拓殖局

臨時防疫

拓殖局臨時防疫係

外務省改務局

甲下

清國側ノ防疫施設ニ關シテハ各地ニ亘リテ其規模寬
 嚴ニシテト雖概ニ我國ノ施設ニ倣ヒ委任組織ノ
 臨時防疫機關ヲ設ケ事務所ヲ設置シ市街地ニ於テ
 ハ戸口調査ヲ施行シ特ニ下等勞働者ノ宿泊集合所
 ニ對シテハ頻數ニ之レヲ施行シテ患者ノ搜查察見ニ力メ
 捕鼠ヲ奨励シ市街内外ニ亘リテハ患家ノ消毒、交通
 遮斷屍體ノ搜索ヲ行ヒ猶北滿又ハ有病地ヨリ來ルモ
 ノノ侵入ヲ防ク為メニ各要地ニ檢疫所ヲ置キ患者ノ
 收容所及ヒ病毒感染ノ疑ヒアルモノ又ハ有病地ヨリ來ルモ

秘

了

清國側ノ防疫施設
 分三節多

ノ為メニ隔離所ヲ設ケ中ニ救護隊、搜索隊、消
 毒隊等ヲ特設セテアリ

從來清國ニハ火葬ノ風習無カリシモ今日ノ「ポスト」流
 行ニ際シ地下五六尺凍結シ多數ノ屍體ヲ埋葬スル
 能ハス既ニ長春、如キハ城外十清里ノ地ニ千以上ノ屍體
 ヲ累積遺棄シタルノ状態ナリ以テ同地及ヒ鐵嶺、本溪湖
 知府管内等ニ於テハ右來ノ弊習ヲ破リ既ニ火葬ニ付
 シ又ハ之レヲ安行セントシワ、アルハ注目スヘキ現象トス、
 清國側ノ醫師ハ長春清醫約千、鍊嶺日醫
 一、助手日本人二、清醫一、朝鮮醫一、奉天日醫四、英
 醫二、清醫四、遼陽日醫二、清醫十餘、營口日醫四
 五、外醫一、清醫二、安東外醫三、清醫五十。

南滿洲ニ於テペスト患者初發地累計 二月百區		場所		附屬地内外ノ區別		摘要	
場所	附屬地内	附屬地外	場所	附屬地内	附屬地外	摘要	
長春	一〇〇	一〇三四	公主嶺	六	一		
四平街	四		昌圖		六七		
法庫門			開原	一	四六		
鐵嶺			奉天	七	一三		
撫順	六		遼陽	八	三五		
立山				二	七九		
大石橋				一	八		
荒地嶺	一						
本溪湖	一	一七					
金州	三						以下同東州内
旅順	二						
大連	六						
計	一九八	二〇二三					

南滿洲ニ於テペスト患者初發地累計 二月百區

摘要

奉天及新府ノ患者數ヲ
奉天附近各地外ニ含ム

北方ヨリ来リタル人若カニテ立
山附近村落ニ發病セシメ

安奉線下

以下同東州内

下

通判

森

明治四拾四年貳月拾參日 接受

警務局

拓殖局臨時防疫

拓殖局臨時防疫

附屬書類添附

第一課

森

南端洲ノ植カレトヘスト流ルニ関
シテ歸國ノ通リ報告ニ付
及申報候也

明治四拾四年二月廿日

写

茶二月十廿午後五時三十分
着八午後八時三十分
奉天

臨時防疫本部香取長

松田勇平二部長
電文 譯

新惠 管内

四平街 一、換順二、 累計一九

管内

奉天 四四(内係争地一) 鉄嶺一、

昌菴 一、 長春 一三七、

換順 一、 累計一九四三

管内外累計二一三二

傳者

外務省政務局

森

区中

明治四十四年二月廿日 接受
南滿洲ニ於ケル「マスト」流行ニ関シ別紙
寫ノ通り報告ニ接シ候條及御回報
也

明治四十四年二月廿日

拓殖局臨時防

拓殖局
臨時防
疫係
原

明治四十四年二月廿日 接受

政務局

3490

附屬書類添附

第一課

東

W

幾月廿四時廿分
 着 六時十分
 奉天
 臨時防疫本部委員長
 拓殖局第二部長宛

電文譯

新患

管内

公主嶺 一
 撫順 一
 長春 三

累計 一九四

管外

奉天 四
 開原 七
 公主嶺 一
 撫順 一
 鐵嶺 三
 昌圖 二六
 長春 六八

累計 二一〇

管内外累計 二二九四

角村 森

明治四拾四年貳月拾參日接受

普通政務局

第一課

附屬書類添附

原書

受筆 3677 號

別紙電報寫通し投書し接し條及
は回報し也

頃後早申子二月十日

拓殖局臨時出張所

加藤 防務局

外務省政務局

出中

拓殖局

寫

二月十日

午後四時七分
東京着

中村總裁

清野理事宛

電文譯

本日西内外支形側へ下居体集積所ヲ
實驗シ全景及部分景三種ヲ撮影セリ
二三日内分取汝牙送ル。現状ハ板入トシテ
約五十分暴露セリ約五分焼却中トシ及
焼却ヲ了リテ其後ニテ五分約五分見等ハ
袋人体ノ形ヲ存セリト馬車ヲ當リト違

拓殖局

板中ノ名約五十分冒キテ尚既ニ埋葬セリ
名約五十分内取取トシテ檢トシテ五分
ハ火葬場トシテ出シテ焼却スル
コト

通府
森

外務省政務司

中

南滿洲ニ於テハノスト流行ノ状況
ニ關シ別紙寫ノ通り電報ニ接シ
テ條及御送付也

二月十三日

拓殖

拓殖
防疫
時局

明治四拾四年貳月拾參日接受

郵政省

受簿 3675 號

第一附屬書類添附

東也

3-2596

0277

(馬)

發二月廿午後六時三十分
着八時三十分
奉天
奉天

臨時防疫本部委員長

拓殖局第二部長宛

新患

管内 奉天 一、撫順 一、

累計 一九六

管外 奉天 四(内係平地一)

鐵嶺 六、昌圖 六(皆朝鮮人)

長春 二〇四(内廿四)

撫順 二、遼陽 一(立山驛附)

田計 二三六〇

管内外累計 二五五六

東
野

ペスト防疫ニ関スル協議會定日ヲ毎週木
曜日ト設定致シ二月當日本後一時ヨリ學
局ニ決着自來五年ノ様致度共申
達候也

明治四十二年十月

拓殖局臨時防疫



外務省政務局出部書記長殿

明治四拾四年貳月一參日接受

第一課 附屬書類添附

第...一三七

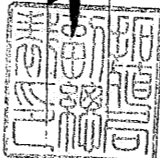
警政務局

受第 36710

本月十日送牙一平ヲ以テト豫防方法ニ関シ
露國大使ヨリ御問合有之候趣ヲ以テ御申越
旨了承候東州内外及朝鮮ニ於ケル豫防方
法ノ現在ニ於ケル敷備ノ概要ハ別紙ト直リニ有之候
向露國大使ニ回答方可能御取計相成度此
致申進出也

明治四十四年二月十三日

拓殖局副總裁 野澤 俊 平



外務次官 石才 菊次郎 殿

御封... 爲... 申上...

拓殖局

内務省ヨリ
回答ヲ待テ
指シテ露國
大使ニ回答
ス

天

明治四拾四年貳月拾參日接受

書式部

第一種附屬書類

受書 3678

別紙電報寫通、報告、接し、係
及返回報せ、也

町原野中子二月十日

拓殖局臨時防

拓殖局
臨時防務係

直封

森

外務省改務局

函中

拓殖局

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

寫

滿鉄清野理子宛

中村總裁

昭和四年二月

十月九日十時十分
午前十一時五分

奉天
東京
着

電文譯

長春道台ヨリ電報了り是表ニ寄贈セル十
 五万圓ノ内四万圓ヲ該地防疫費トシテ分配
 ヲ受ケタル故ヲ以テ謝意ヲ表し且昨日屍体
 一千百十五ヶ九個ノ穴ニ入レ公葬ナリ付シ今夜
 一日二百人ノ屍体ヲ焼キ得ル火葬場ノ
 設備ヲ依頼シ来レリ

拓殖局

知事 倉田 啓

相野 隆 考 満 州 河

出張中、江本 部長

、宛 暗号 電報 を

而 差 出 之 付 合、所

我 而 使 用 年 度 迄

敬 具

二月十号

杯 指 為

立 花 俊 吉

倉 知 政 務 局 長 殿

ベスト患者日報

明治四十四年二月十一日

地方別	關東都督府管内患者		清國管轄内患者		摘要
	日本人	支那人	日本人	支那人	
旅順	1	2	1	1	二名共大連ヨリ來レル苦力村落ニテ發生シタルモノ
大連	6	6	4	2	係争地ノ新患一累計五二
奉天	7	7	4	2	
鐵嶺	1	1	3	5	
開原	1	1	7	2	
昌圖	1	1	2	1	城内及城南ノ村落ニ發生ス
四平街	1	1	1	1	
公主嶺	1	1	1	1	上段累計ノ内一ハ郭家店驛ニ於テ發生ス
長春	3	1	6	1	附近ノ村落ニ蔓延シツ、アリト云フ
雞冠山	1	1	1	1	
金州	1	1	1	1	
撫順	1	1	1	1	清國管内ノ新患ハ古城子ニ發シタルモノ
本溪湖	1	1	1	1	石橋驛子附近ニ一其ノ他ハ大嶺驛附近ニ發シタルモノ
法庫門	1	1	1	1	立山驛附近ノ支那部落ニ於テ北方ヨリ來ル苦力ニ發シタルモノナリ
遼陽	1	1	1	1	
合計	55	55	35	20	

關東都督府

備考 清國管轄内患者ハ南滿鐵道ニ接近シタル主要地ノ患者ヲ計上ス其數ハ清國官憲ノ通報ニ係ルモノナルヲ以テ明細ナラス
奉天清國管内累計ノ内ニ日本人二朝鮮人一、英國人一ヲ含ム、△印ハ朝鮮人ヲ示ス

ハスト患者日報

明治四十四年二月十二日

地方別	關東都督府管内患者		清國管轄内患者		摘要
	日本人	支那人	日本人	支那人	
旅順	二	二	二	二	二名共大連ヨリ來レル苦力村落ニテ發生シタルモノ
大連	六	六	六	六	係争地ノ新患一累計五三
奉天	八	八	八	八	
鐵嶺	一	一	一	一	
開原	一	一	一	一	
昌圖	一	一	一	一	城内及城南ノ村落ニ發生ス 新患ハ昌圖驛附近ニ發ス
四平街	五	五	五	五	
公主嶺	九	九	九	九	上段累計ノ内一ハ郭家店驛ニ於テ發生ス
長春	九	九	九	九	附近ノ村落ニ蔓延シツ、アリト云フ
雞冠山	一	一	一	一	
金州	三	三	三	三	
撫順	七	七	七	七	清國管内ノ新患ハ古城子ニ發シタルモノ
本溪湖	一	一	一	一	石橋子驛附近ニ一其ノ他ハ大嶺驛附近ニ發シタルモノ
法庫門	一	一	一	一	
遼陽	一	一	一	一	立山驛附近ノ支那部落ニ於テ北方ヨリ來ル苦力ニ發シタルモノナリ
合計	二九六	二九六	二九六	二九六	

備考 清國管轄内患者ハ南滿鐵道ニ接近シタル主要地ノ患者ヲ計上ス其數ハ清國官憲ノ通報ニ係ルモノナルヲ以テ明確ナラス
奉天清國管内累計ノ内ニ日本人二朝鮮人一、英國人一ヲ含ム、△印ハ朝鮮人ヲ示ス

關東都督府

領事館管内ニ於テハ日本人ノミヲ調査ス、△印ハ朝鮮人ノミヲ示ス、奉天總領事館日本人男ノ内ニハ朝鮮人ナリトス

合		内管館事領本日							地 屬					附 道 鐵							州 東 關				管 轄 別			
計	計	安東領事館	長春領事館	鐵嶺領事館	奉天總領事館	遼陽領事館	牛莊領事館	計	鶏冠山支署	安東警務署	公主嶺支署	長春警務署	性	管轄別	計	本溪湖支署	撫順支署	奉天警務署	遼陽警務署	大石橋支署	瓦房店支署	營口警務署	計	金州支署	大連民政署	旅順民政署	管轄別	性
計	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
...	本	本	
...	日	日	
...	發	發	
...	生	生	
...	計	計	
...	者	者	
...	治	治	
...	瘧	瘧	
...	計	計	
...	現	現	
...	患	患	
...	計	計	

ペスト患者日報

明治四十四年二月十三日

關東都督府

ベスト患者日報

明 四十四年二月十三日

地方別	關東都督府管内患者		清國管轄内患者		摘
	日本人	支那人	日本人	支那人	
旅順	：	：	：	：	二名共大連ヨリ來レル苦力村落ニテ發生シタルモノ
大連	：	：	：	：	係争地ノ新患ナシ累計五三
奉天	：	：	：	：	：
鐵嶺	：	：	：	：	：
開原	：	：	：	：	：
昌圖	：	：	：	：	城内及城南ノ村落ニ發生ス 新患ハ昌圖驛附近ニ發ス
四平街	：	：	：	：	：
公主嶺	：	：	：	：	上段累計ノ内ハ郭家店驛ニ於テ發牛ス
長春	：	九三	：	九一	附近ノ村落ニ蔓延シツ、アトイフ
雞冠山	：	：	：	：	：
金州	：	：	：	：	：
撫順	：	：	：	：	清國管内ハ萬達屋、江南下、苗勾前荒地勾ニ發シツ、アトイフ
本溪湖	：	：	：	：	石橋子驛附近ニ一其ノ他ハ大窟驛附近ニ發シタルモノ
法庫門	：	：	：	：	立山驛附近ノ支那部落ニ於テ續發ス
遼陽	：	：	：	：	：
合計	二九八	二九八	二九八	二九八	二九八

備考 清國管轄内患者ハ南滿鐵道ニ接近シタル主要地ノ患者ヲ計上ス其數ハ清國官憲ノ通報ニ係ルモノナルヲ以テ明確ナラス
奉天清國管内累計ノ内ニ日本人ニ朝鮮人一、英國人一ヲ含ム、△印ハ朝鮮人ヲ示ス

關東都督府

摘要

明治四拾四年貳月拾四日接受

農政務局

受第 3737 號

附屬書類添附

第一號

栗 月 廿

南滿洲ニ於ケルノ
（スト）流行ニ関シ別
紙寫ノ通リ接報告ニ條及御送

附去也

明治四十四年二月十四日

拓殖局臨時防疫係

拓殖局臨時防疫係

直付 外務省政務局

御中

森

3-2596

0290

幾月十日午後六時廿分
着、十四日午前〇時八分
奉天
臨時防疫本部委員長
拓殖省第二部長宛

電文譯

新患

管内

奉天

計 一九八

管外

撫順

奉天

遼陽

累計

計

二四八九

三七

長春

九一

一(高野附送、續發毛)

管内外累計

二六八七

茂 二月十三日 午後四時五十分 奉天
着 十四日 午前。時 九分 茨町

臨時防疫本部委員長
拓殖局臨時防疫係長

電文譯

撫順西墾坑ノ腺バスト 疑似患者八細
菌検査ノ結果バストニ非スト 確定セリ

3-2596

0293

明治四拾四年二月十四日接受
 共管政務局
 附屬書類添附 第一課
 3736 號
 秘 電報局及印送付也
 明治四十四年二月十日
 拓殖局
 外務省政務局
 中 中
 角 角
 森

寫

電報

久保島藏

秘

清野理年宛

二月十三日午後五時五分 大連警察署

安奉線橋頭警務署ニ使役セル巡捕所有ノヒストル
土人ニ為シトシテ其他ノ警務署ニテ捕縛シタルニ支那
官憲ハ該犯人ヲ強奪セシメ昨日午後九時日清警官
争闘シ日本人七朝鮮人一負傷セリ

魚

明治四拾四年貳月拾五日接受

南滿洲ニ於ケル「ペスト」流行ニ關シ別
系寫通リ接報告其條及御送
附去也

明治四十四年二月五日

善政務局

石隨為臨時防
附屬書類添附

加殖局
防疫係
防疫係

外務省政務局

受第 3846

第 3846

原下

印

写

發 二月十四日午後七時三十分 奉天
着 十五日前〇時 五分 發行

臨時防疫本部委員長

松田利三郎長宛

電文紙

新憲

管内

前原 一

公主嶺 一

累計一九九(日本人因ヲ割去シ九二)

管内

奉天 二八

鉄嶺 入

前原 二九

長春 七三(内九)

撫順 一五

清原 二九

累計 二六七

管内外累計 二八七

計	大連	旅順	金州	本溪湖	荒地峯	大石橋	立山	遼陽	撫順	奉天	鉄峯	開原	法庫門	昌邑	四平街	公主峯	長春	場所	南滿洲(註) 不患者初案未累計数 二月十五日迄	
																			附屬地内	外ノ區別
二一八	六七	二	三	一	一				一二	九	二				四	八	一〇九			
二八三九				一七		一	四	一	四〇	九七三	五二	四九	七五	九九		二	一五二六			
																			挿	あ
				以下開示州		安奉線下		附屬地外ノ合ニ新式府ノ患者数ヲ含ム												

極殖為臨時防疫係

長
東

明治四拾四年貳月拾五日接受

總督府

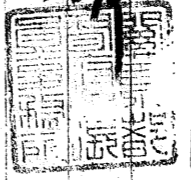
附屬書類添附

別紙の如く考得の通り也

四月廿五日

閣下御方出の事務所

外務省政務官殿



關東都督府

3-2596

0298

電款 二月十四日午後五時十分

白仁長官

防疫本部

本日韓公使防疫事務ノ件ニ関シ總領事館未訪
小池總領事ト共ニ面會シテ防疫會議議程中ニ
點字句ノ改訂ヲ決シ度希望アリトテ修正案ヲ提出致シタリ
右別紙美支キコトノ標男科シタリテ都督閣下ノ所高
見ヲ伺ハ破岩スニ旨ヲ申置ケリ

長春ノ防疫ニ関シ先ニ交渉シタル件ニ就テハ
第一長春城内外ノ交通ヲ遮断スルコト
第二浮浪者ヲ長春ヨリ放逐シテ之ヲ一定ノ場所ニ收容
スルコトニ付テハ異存ナシ既ニ長春道署ニ實行スル
コトヲ命令シ置キタリト事ヲ申述ヘタリ因テ松原支那

長ニハ道署ト協議シテ其後實行ヲ破岩スニキコトヲ
電報シ置ケリ

第三長春ニ我消毒班十班ヲ派遣シ據國ノ消毒ニ長
事ニ付テ付テハ情國官憲ニ侵入實行シタキ考
ラ其ノ旨長春道署ニ照會シタルモ未返事ナキ旨申
シ居リ

昨夜電報致シ格段ニ格段ニ鐵路也等ノ不信任ヲ對シテハ
ヲ交渉使ニ嚴詰シテ處分調一上嚴重處分スルコトヲ
申出イテの地總領事ヲ面會シテ格段鐵路也等
ノ撤廢及日本人負傷者對テ格段等種水ニ答
係争地燒却ハ明日ヨリ實行ノ見込

明治四十四年二月十四日午後九時十五分

在長春 秘書官

白仁政 改長官宛
電報 談

都督閣下本日午後時当地防疫支部に於て重なる關係者に於て慎重一致事、
 當り清國官憲より宜しき意を以て疎通ヲ謀リ防疫ノ實効ヲ得ルに極力カスルキ
 旨刻不スレシ次ニ午後二時日本領事館に於て是道學士會見セシ懇談
 セリ同道台ニ誠心之を同セシ又都督より防疫本部提案タル(一)長春
 城内外交通遮断(二)清國防疫補助員日本梅毒隊ヲ城内に依
 ノ件(三)城内外浮浪者ヲ一定之隔離スル件等其後ノ模様ヲ簡カレシ
 (一)ニ就テハ明十五日ヲ第三鎮ノ兵三百名ヲ出シテ之ヲ行シ(二)ニ就テハ
 城外十清里乃至二十清里ノ地ニ在リテ那宿屋三十軒ハ手ヲカスル(三)ニ就テハ
 千人ノ貧民ヲ收容スル計畫ヲ有スル又(四)ニ就テハ当地公役長ノ意見ニ依
 三十九名ノ囚徒ヲ選抜シ之ヲ刑俵ヲ與ヘ日本三人ヲ此等ノ下ニ消毒ヲ
 行フコトニ決シ既ニ錫佛塔ノ許ニ消毒セシ旨同道學士より答アリタリ
 然レド(一)ニ關スル道學士ノ意見ニ至リ到底防疫ノ實効ヲ望ムルコト固
 難ナルニ付再考ヲ望ム内當方ニ於テ防疫本部ニ相談ノ上必要アリト
 錫佛塔ニ申出ツル旨又係田理事より附言セラルル台ハ誠心誠意
 以テ防疫ノ實ヲ望ムルノ目的ヲ以テ進テ極力努力ヲ請フ事頃
 打合又消息ニキ旨愈々該説ハ之ヲ依リテ依リテ却智ハ得ルコト也

明治四拾四年二月廿六日 接受
 外務省 政務局
 南滿洲ニ於ケルコレラト流行ニ関シ
 別紙寫ノ通り接報告ニ條及御
 送附也

明治四拾四年二月廿六日
 拓殖局臨時防疫係

御中

附屬書類添附
 第 4004 號
 第 一 號

拓殖局臨時防疫係

(写)

發二月十五日午後五時五十五分奉天
着八 九時 菱河

拓殖高等二部長宛
臨時防疫本部委員長

電文 訳

新 患

管内

長春六(遺棄屍体五基若一) 撫順四(隔離中)

累計二〇八

管外

奉天二七

長春五六

撫順四

累計二七五九

管内外累計二九六七

明治四拾四年貳月拾六日接受

主官 政務局

附屬書類

南滿洲ニ於ケルノペストノ流行ニ関シテ

第一課

秘

系屬ノ通リ接報告ニ係及御送
附去也

明治四十四年二月十日

拓殖局臨時防疫

拓殖局臨時防疫係

直

外務省政務局
下

印

印

3-2596

0303

電 訊 二月十四日午後五時十分奉電發

白仁長官

防疫本部長

本日韓交渉使防疫事務件、園に總領事館東詰に池總
領事ト共ニ面会シテ、但防疫人々豫知中ニ二三一字自改
白多致シ度希望アリトテ、條口案ヲ提出致シタリ

右の別面ニテ、又キコトノ様思科シタレモ、却督閣下は高
尺ノ何ヒ、確決スヘキガヲ申置ケリ

長春ノ防疫ノ関シ、見ニ交渉シタレ、件ニ就テハ

第一、長春市域内ハ交通ヲ遮断スルコト

第二、浮浪者ヲ長春市ヲ放逐シテ之ノ定ノ場所ニ收容ス

ルコトニ付、ハ田舎存ナリ、既ニ長春市道台ニ実行スヘキ

コトヲ人衆令シ置キ、事ヲ申出、タリ、因テ松本支

部長ニ、是レハ口ト協議シ、其実行ヲ促ス、云々

拓 殖 局

コトヲ電報トシ置ケリ

第三、長春ニ我清毒班十班ヲ派遣シ、清カノ消毒ニ従

ルセシムル、件ニ付、ハ、消毒ニ注意シ、雇入実行ニテヤ

カ、事ヲ其旨長春市道台ニ照会シ、ハ、未返リ

ナキ旨申シ居リ

係争地焼却ハ、明日ヲ実行見